

鳥取県労福協 第39回 評議員会 開催

2009年3月27日(金)



第39回評議員会を、3月27日(金) 13時30分より全労済鳥取県本部大会議室に於いて、評議員40名(出席30名書面表決10名)の参加により開催しました。

議長団に私鉄総連の山下浩二評議員と全労済の河崎充博評議員を選出し、議事が進められました。

冒頭、安田理事長より、「世界経済の異常な展開のもとで、金融経済の暴走や、海外依存の日本経済、労働市場の不安定化など、日常の課題が顕在化している。労福協運動を高め、地域社会への接点を広げて行こう。」とあいさつがあり、続いて来賓の鳥取県商工労働部から木村敬経済・雇用政策総室長、連合鳥取から磯江智昭会長より激励のあいさつを受けました。

議事は、小泉専務理事より、第1号議案「2008年度活動報告」、第2号議案「2008年度決算収支報告・監査報告」を行い、いずれも報告どおり承認されました。

引き続き第3号議案「2009年度活動方針」、第4号議案「2009年度予算」と、第5号議案「理事の変更」が提案され、小東理事(全労済)・福田理事(県生協)の2名を新理事として承認し、すべての議案が承認のうえ議事が終了致しました。

希望につながる福祉型社会を作るために、未組織労働者や非正規雇用、高齢退職者など幅広い層も巻き込んで、地域社会との連携と共感を呼ぶ運動体として一層の発展をめざす運動を実践することを確認し合い新年度の運動がスタート致しました。

2009年度 活動の基調

- 鳥取県労福協を構成する労働団体、事業団体の力の結集と連携を一層強め、労働者の生活支援を中心とする労働者福祉事業の更なる発展をめざします。
- ライフサポートセンター、鳥取県中小企業労働相談業務の受託、消費者被害防止活動など、総ての労働者のセフティーネットとしての機能を高めるとともに、調査・研修、政策提言、福祉カンパなどを通じて、行政組織・NPO 組織との連携や地域社会への参画を進めます。
- 文化・スポーツによる交流活動や広報事業などを通じ、働く仲間の連帯、共生の理念を大切にする地域社会づくりを促進します。

鳥取県労働者福祉協議会 役員一覧表

理事長	安田邦夫	連合鳥取(情報労連)	理事	小東照久	全労済
副理事長	前田厚彦	連合鳥取(日教組)	理事	福田伸一郎	鳥取県生協
副理事長	安長 章	中国労働金庫	理事	米田成利	鳥取医療生協
専務理事	小泉俊一	鳥取県労福協	理事	河村正之	労福協東部支部
常務理事	小高郷近	全労済	理事	橋本将司	労福協中部支部
理事	澤田陽子	連合鳥取(自治労)	理事	八幡勇治	労福協西部支部
理事	土岡 勉	連合鳥取(JR連合)	監事	橋本英之	連合鳥取(JAM)
理事	吉田孝博	連合鳥取(全国一般)	監事	中居和美	中国労働金庫
理事	坂口俊広	高教組			